

おおた社会福祉士会会報

第85号

2016年3月10日発行

発行：おおた社会福祉士会事務局

責任者：田端千英

連絡先：〒146-0082 東京都大田区池上7-13-14

電話・FAX 03-6410-6051

E-MAIL: otachikukai@yahoo.co.jp



(メール配信への切り替えをご希望される方は、「お名前」と「メール配信希望」の旨をこちらまでお願いします。)

1月定例会報告

「ソーシャルワーカーの視点から、虐待にどう向き合うのか」

権利擁護チーム 塩原 匡浩

1月20日の定例会は、昨今話題の「虐待」というテーマでした。「在宅・施設での虐待の現状の説明だけでなく、虐待してしまう家族や施設職員側の心理なども含めて、社会福祉士（ソーシャルワーカー）や成年後見人の視点から「虐待にどう向き合うのか」について公益社団法人あい権利擁護支援ネット川端伸子様にご講演頂きました。

講演内容は、①高齢者虐待の現状として、高齢者虐待防止法の特徴や、その対応方法及び養護者による高齢者虐待類型の例、介護保険制度での課題等々、②高齢者施設従事者等による虐待について、③成年後見制度と高齢者虐待、④養護者支援をどうとらえるか等々について話していただきました。

最後は講師がソーシャルワーカーとして考えていることとして、「家族の多様性を認めることと、虐待を見逃さずに解消していくことは相反しない。」「支援者がひとりでソーシャルワークの価値を完成させようとしない。ひとりで全てを担おうとしてはならない。」とまとめられました。

2月定例会報告

「おおた地域包括ケアシステムをすすめる会」の取り組みについて

地域福祉チーム 笹生 崇

2月17日（水）の定例会では地域福祉チームの主催により NPO 法人福祉コミュニティ大田代表の浜洋子氏を講師にお招きし、「おおた地域包括ケアシステムをすすめる会」の取り組みについてご講義頂きました。現行の介護保険制度から、本年4月より大田区で開始となる介護予防・日常生活総合支援事業、そして地域包括ケアシステム構築に向けての大田区での取り組みについてもお話し頂きました。また質疑応答のなかでは介護保険と障害者総合支援法との不整合とも言うべき実態についても、実際の事

例で解説下さり、「制度の狭間」というものを改めて認識させられた講義内容でした。また私たち福祉専門職はそれぞれの地域特性に合わせた「地域包括システム」を構築していくなか、地域住民が主体的に福祉・介護にかかわるときに、社会福祉の専門職としてできることを提供し、連携していくにこそ、その使命があるということを強調されていました。おおた社会福祉士会の大きなテーマである「地域包括ケアシステム」の構築に向け、その必要性を再認識させられる内容でした。また会終了後の懇親会でも講師を含め多くの方が参加、活発な意見交換もされてその関心の高さも印象にのこるたいへん有意義な会となりました。

平成 27 年度活動報告

おおた社会福祉士会会長 田端 千英

おおた社会福祉士会では、平成 25 年度に設立 20 周年を記念して 20 年誌を発行し、発足の由来と活動方針を再確認すると共に、地域包括ケアシステム構築に向けて「おおた社会福祉士会 3 か年計画」を立案して活動を展開してきました。

初年度の活動方針として 1.「会員加入率アップと組織の活性化」2.「社会福祉固有の活動サポート」3.「行政との連携」を掲げ、活動基盤を構築するために 3 つのチーム制を導入しスタートしました。

初年度の評価のもと、2 年目の活動方針では「行政との連携」を「区民・行政機関・専門職との連携」に変更したこと、地域福祉チームの「地域包括支援センター」に「特別出張所」を追加したこと等から窺がえるように、行政主導型から住民参加型へ、日常生活圏域の設定、専門職と行政の協働と役割を明確にしようとする活動内容に重点を置きました。

定例会等の活動内容につきましては、会報にて随時ご報告をさせていただいておりますが、3 年目の主な活動の評価と課題をご報告させていただきます。この間以下の行事の企画・共催・後援・委員の派遣等を行ってきました。

ソーシャルワーカーデー2015 (平成 27 年 8 月 9 日)	アプリコ地下小ホール
第 2 回おおた高次脳機能障害サポーター養成講座 平成 27 年 9 月～11 月 連続講座 4 回	新蒲田福祉センター
おおた福祉フェス 2015 (平成 27 年 9 月 6 日)	アプリコ地下展示室
障害者の自立生活を考える「65 歳に直面する課題とは」 (平成 27 年 11 月 17 日)	消費者生活センター
区民公開講座「みんなで支える認知症」 (平成 28 年 2 月 13 日)	大田文化の森ホール
大田区地域包括支援センター運営協議会 平成 27 年 6 月～28 年 2 月 (3 回)	大田区役所
大田区自立支援協議会 (本会・全体討議会・相談支援部会・地域移行部会) 平成 27 年 5 月～28 年 3 月 毎月	大田区立障がい者総合 サポートセンター

大田区地域包括支援センター運営協議会と大田区自立支援協議会の両会議は、平成26年3月に策定された「おおた未来プラン10年（後期）」の高齢者分野の目標の実現を目指して策定された「おおた高齢者施策推進プラン」と、障がい者分野の「おおた障がい施策推進プラン」の実施状況の点検と評価を中心に開催されました。

「大田区地域包括支援センター運営協議会」では高齢者の生活を支える医療・介護・予防・住まい・生活支援などのサービスが切れ目なく適切・円滑に提供されていく「地域包括ケア体制」を構築していくことを最重要課題とし、その核である地域包括支援センターの次年度以降の役割について議論を重ね、大田区に提言書を提出しました。その中身は、1.新総合事業やシニアステーション事業の円滑な実施に向けて 2.評価の実施について 3.職員の人材育成・人材確保のあり方について 4.認知症高齢者支援の役割についての4点です。

特に2.評価の実施では、「運営法人及び区が、地域包括支援センターのサービスレベルを共通基準で把握し、意識改革や業務改善により事業の質を向上させる」ことを据えて①自己評価（1次評価）②区（高齢福祉課・地域福祉課）による2次評価、③利用者・家族・民生委員へのアンケート評価を実施し、改善策の策定を求めました。更に評価の実効性を高めていくために、(1)民生委員のアンケート回収率を高める方策(2)連携する機会の多い介護支援専門員等の第三者専門職の視点を加えること(3)改善が期待できない委託法人の変更も含めた措置を検討することを挙げました。

3.の職員の人材確保については深刻であり、殆どのセンターで職員の欠員に関する改善事項が指摘されており、区による指導・監督と労働条件のチェックも提言しました。

「大田区自立支援協議会」には、おおた障がい者施策推進プラン評価委員会が設置され、実施状況に対する検証と評価等が行われました。その成果として、来年度に新たに設置される「大田区障がい者施策推進会議」に向け、各専門部会（相談支援部会・防災部会・就労支援部会・こども部会・地域移行部会）が検討結果を全体討議会で意見を出し合うことによって、それぞれの部会が今後の検討作業のすすめ方も考察できるようになった「協働」の意識の醸成が挙げられます。

障害の重度化・高齢化に加え、発達障がいや高次脳機能障がいなど多様化する障がいに対応するため、福祉・保健・医療等の関係機関や事業者との連携を図り、就学・就労などライフステージごとの課題、また災害時における要配慮者支援など、生涯途切れることのない支援の仕組み作りと体制強化を次年度以降の「現状と課題」としてまとめました。

両協議会のプランの基本理念である

「高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります」と、

「障がい者が地域で自分らしく安心して暮らせるまちをつくります」を踏まえ、

突然の困難に見舞われ先の見通しが見えない時・見えていても利用できる地域資源がないなど「不安」が生じた時など一見困難で難しそうなことも小さな課題解決を積み上げていけば意外と出来ることもあり、出口が見えることもあります。

おおた社会福祉士会は、子どもから障がい者・高齢者までライフステージを通した切れ目のない制度の谷間への支援や小地域福祉の拠点づくり、学習の機会の提供や研修、要援護者の権利擁護など様々な視点で地域づくりにも取り組んできました。いつでも誰でもみんなが社会参加できる安心感の醸成について、社会福祉士だからこそできる専門性を皆様と共有できる会であり続けたいと強く感じています。

3月 定例会のお知らせ テーマ：活動の振り返りと次年度事業計画

平成25年度より「おおた社会福祉士会3か年プラン」を掲げ、高齢・障害分野の制度の谷間支援と医療連携を課題とした「ケアマネジメント」、成年後見・虐待・低所得者対応を対象とした「権利擁護」、地域コミュニティをテーマとした「地域福祉」の3つのチームで地域包括ケアシステム構築に向けて活動を展開してきました。今年度最後の定例会では、これまでの活動内容を振り返り、見えてきた課題について皆さんと話し合い、次年度に向けてのディスカッションを全チームで一緒に行います。

日 時：3月16日（水）19：00～20：30

会 場：大田区消費者生活センター2階 第6集会室

大田区蒲田 5-13-26 電話：03-3736-7711

交 通：JR 蒲田駅東口から徒歩5分（大田区役所前から川崎方向に約300メートル）

2016年度おおた社会福祉士会定期総会・懇親会のお知らせ

2016年度おおた社会福祉士会定期総会を下記の通り開催いたします。2015年度の事業報告・決算の承認と2016年度の事業計画・予算の審議をする重要な会議です。万障お繰り合わせの上、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

総会後には、例年通り懇親会を開催いたします。会場は「Shiva Shakti（シバーサクティ）蒲田本店」で、会費は3,500円（税込）となります。当日会場にてお支払ください。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

日 時：2016年4月20日（水）

【総 会】18：30～19：15 会場：大田区消費者生活センター2階 第6集会

【懇親会】19：30～21：30 Shiva Shakti（シバーサクティ）蒲田本店

住 所：〒144-0052 東京都大田区蒲田5-45-1 YMビル2F

H P：<http://r.gnavi.co.jp/kecszyv10000/> 費 用：3,500円（税込）

〈問い合わせ〉おおた社会福祉士会事務局／E-mail：otachikukai@yahoo.co.jp

担当：吉田悠吾 090-2117-9783

同封の総会・懇親会の出欠ハガキは、4月11日(月)までにご返送ください♪

なお、料理を予約している都合上、当日キャンセルは実費費用を頂戴いたします。

編集後記

今年度は役員3人が交代で会報編集を担当しました。会報編集にご関心ある方、役員活動にご興味ある方は、ぜひお気軽にご連絡ください。新人さん大歓迎です!!!（いこま）